

令和6年度B日程
学力検査問題

⑤

社 会

注 意

- 1 開始の合図があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- 2 解答用紙は問題用紙の中に挟んであります。
- 3 問題用紙は表紙を除いて7ページで、問題は**1**から**3**まであります。
- 4 開始の合図があったら、まず、問題用紙および解答用紙の所定の欄に
受検番号を書きなさい。
- 5 答えはすべて**解答用紙の指定された欄**に書きなさい。

受 検 番 号

受 検 番 号

1 次の略年表を見て、下の1～7の問いに答えなさい。

略年表

西 暦	で き ご と
663年	<input type="text" value="X"/> が起こる
672年	① <u>壬申の乱が起こる</u>
1333年	② <u>鎌倉幕府が滅亡する</u>
1716年	享保の改革が始まる……………
1843年	天保の改革が終わる……………A
1873年	③ <u>地租改正が実施される</u>
1914年	④ <u>第一次世界大戦が始まる</u>
1945年	⑤ <u>国際連合が成立する</u>

1 年表中の は、倭国（日本）が百済を支援するために送った大軍が、唐・新羅連合軍と戦って大敗した戦いである。この戦いを何というか、書きなさい。

2 年表中の下線部①に「壬申の乱が起こる」とあるが、この乱に勝利して即位した天皇を、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 天智天皇 イ 後三条天皇 ウ 天武天皇 エ 推古天皇

3 年表中の下線部②に「鎌倉幕府が滅亡する」とあるが、次の資料Iは、みさきさんが、鎌倉幕府滅亡後の政治の動向についてまとめたノートの一部である。ノート中の ・ に当てはまることばの組み合わせとして正しいものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

資料 I

【鎌倉幕府滅亡後の政治の動向】

○鎌倉幕府の滅亡後、後醍醐天皇は、天皇中心の新しい政治を始めた（建武の新政）。しかし、武士の不満が高まり、 が武家政権の復活をめざして兵を挙げると、新政は2年ほどでたおれた。

○ は、新しい天皇を即位させ、自分は征夷大將軍となって京都に幕府を開いた。吉野に逃れた後醍醐天皇も自分の正統性を主張したため、全国の武士は二つの勢力に分かれ、60年近く戦いが続いた。これを という。

- ア a - 足利義満 b - 応仁の乱
 イ a - 足利義満 b - 南北朝の動乱（南北朝の内乱）
 ウ a - 足利尊氏 b - 応仁の乱
 エ a - 足利尊氏 b - 南北朝の動乱（南北朝の内乱）

4 年表中のAの時期の文化について述べた文として正しいものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 出雲の阿国が、京都でかぶき踊りを始めた。
- イ 黒田清輝がフランスの絵画を学び、明るい色彩の洋画を描いた。
- ウ 紀貫之らによって、『古今和歌集』がまとめられた。
- エ 本居宣長が『古事記伝』を著し、国学を大成した。

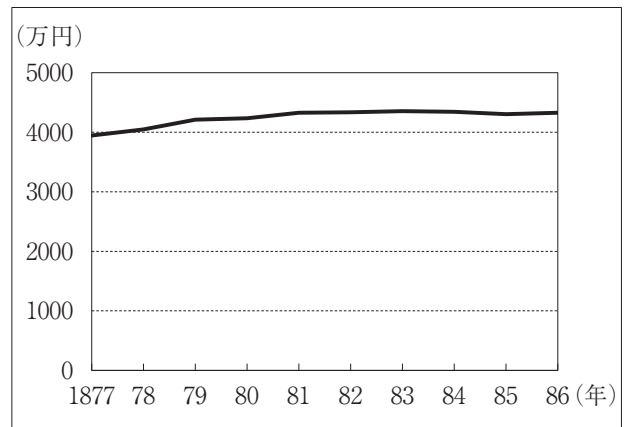
5 年表中の下線部③に「地租改正が実施される」とあるが、次の資料Ⅱは、1830年から1839年までの江戸幕府の年貢の収納高を表したものであり、資料Ⅲは、1877年から1886年までの明治政府の地租収入額を表したものである。資料Ⅱと資料Ⅲから考えられる明治政府が地租改正を行った理由について、「米」と「現金」の二つの語を使って、簡潔に書きなさい。

資料Ⅱ



(江戸幕府財政史論による)

資料Ⅲ



(日本近代史辞典による)

6 年表中の下線部④に「第一次世界大戦が始まる」とあるが、第一次世界大戦中に起きたできごととして正しいものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア アメリカ合衆国では、リンカン（リンカーン）大統領が奴隷解放宣言を出した。
- イ ロシアでは、レーニンの指導により、社会主義の政府が作られた。
- ウ インドでは、イギリスへの不満が高まるなかで、インド大反乱が起こった。
- エ 朝鮮半島では、大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国との間で戦争が起こった。

7 年表中の下線部⑤に「国際連合が成立する」とあるが、国際連合成立以後の我が国の外交に関する次のア～エのできごとを、年代の古いものから順に並べ、その記号を書きなさい。

- ア サンフランシスコ平和条約を結ぶと同時に、日米安全保障条約を結んだ。
- イ 日韓基本条約を結び、大韓民国と国交を正常化した。
- ウ 日中共同声明に調印し、中華人民共和国と国交を正常化した。
- エ 日ソ共同宣言の調印により、日本の国際連合への加盟が実現した。

2 次の1～6の問いに答えなさい。

1 次の文は、日本国憲法第41条である。 a ・ b に当てはまることばの組み合わせとして正しいものを、下のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

国会は、 a の最高機関であつて、国の唯一の b 機関である。

ア a - 国民 b - 司法 イ a - 国民 b - 立法

ウ a - 国権 b - 司法 エ a - 国権 b - 立法

2 次の資料Iは、みずきさんが、知る権利についてまとめたノートの一部である。ノート中の c に当てはまることばを書きなさい。

資料I

【知る権利】

- ・新しい人権の一つである。
- ・情報化が進む現代では、国や地方公共団体に多くの情報が集まっており、これらの情報を手に入れる権利として「知る権利」が主張されている。
- ・「知る権利」は、私たちが主権者として意思決定する前提となる重要な権利である。

↓

【 c 制度】

- ・高知県は1990年に高知県 c 条例を公布した。
- ・国は1999年に c 法を公布した。
- ・請求すると国や地方公共団体の公的な文書などを見ることができる。

3 現在、我が国で採用されている選挙制度について述べた文として正しいものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 参議院議員選挙は、小選挙区制と比例代表制を組み合わせた小選挙区比例代表並立制で行われている。

イ 衆議院議員選挙は、都道府県を単位とした選挙区制と比例代表制を組み合わせて行われている。

ウ 参議院議員の任期は6年で、3年ごとに選挙を行い、半数ずつ改選している。

エ 衆議院議員の任期は4年で、被選挙権は満30歳以上である。

4 右の資料IIは、資本主義が危機に直面していることを伝える2022年1月1日の新聞である。資本主義における経済活動について述べたX・Yの文について、その正誤の組み合わせとして正しいものを、下のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

資料II

著作権保護のため掲載していません。

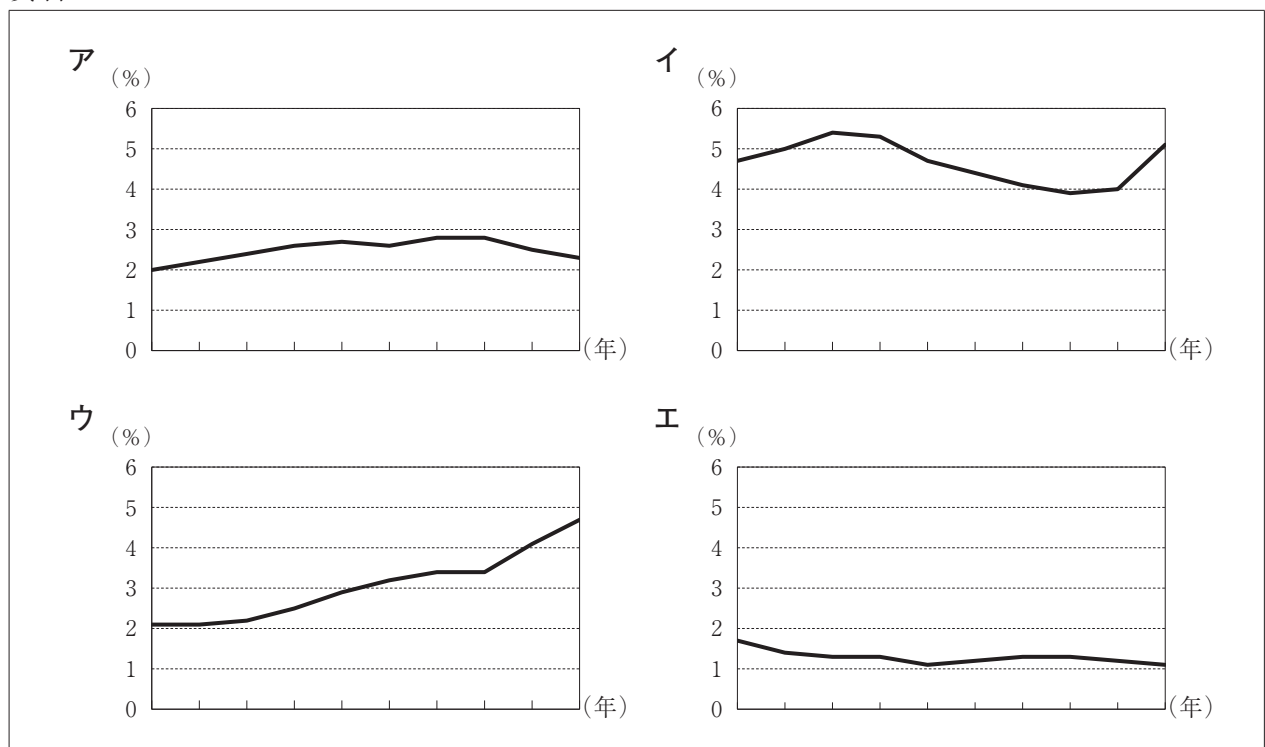
X：多くの企業が利益を目的に競い合い，新たな商品の開発・生産や，技術の開発などといった技術革新（イノベーション）をもたらす。

Y：景気変動が起こりにくく，所得の差が生じにくい。

- ア X - 正 Y - 正 イ X - 正 Y - 誤
 ウ X - 誤 Y - 正 エ X - 誤 Y - 誤

5 次の資料Ⅲは，それぞれ1960年代，1980年代，1990年代，2000年代の我が国の完全失業率の年平均値の10年間の推移を表したグラフである。下の【会話】は，ひろしさんとたかしさんが，資料Ⅲを見ながら交わした会話の一部である。【会話】を読み，1980年代の完全失業率の推移を表したグラフとして正しいものを，資料Ⅲ中のア～エから一つ選び，その記号を書きなさい。

資料Ⅲ



(総務省の資料による)

【会話】

ひろし：2022年の年平均の完全失業率は2.6%だったけれど，以前はどうだったのかな。

たかし：完全失業率は，2002年には5.4%にまで達しているね。その後，低下するけれど，2008年に起こったリーマンショックのあとにまた急上昇しているね。

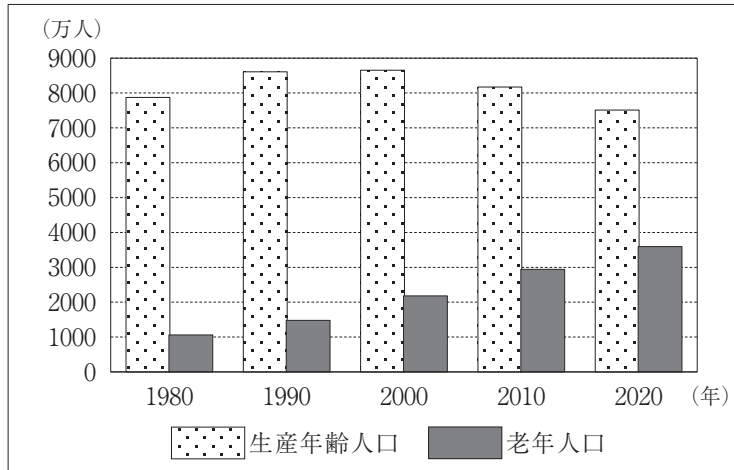
ひろし：1%台前半という低い水準でおおむね推移している時期があるね。これは高度経済成長期である1960年代の完全失業率を示しているね。

たかし：高度経済成長期が終わると，徐々に完全失業率は上がり始めているね。ところが，1980年代後半から完全失業率が低下しているのはなぜだろう。

ひろし：これは地価や株価が異常に高くなった「バブル経済」の影響だろうね。でも，1991年にバブル経済が崩壊すると，平成不況とよばれる不景気になり，完全失業率も大幅に上昇していくね。

6 次の資料Ⅳは、1980年から2020年までの我が国の生産年齢人口（15～64歳の人口）と老年人口（65歳以上の人口）の推移を表したものであり、資料Ⅴは、1980年から2020年までの我が国の65歳以上の就業者数の推移を表したものである。我が国の労働状況がどのように変化したか、資料Ⅳ、資料Ⅴから読み取れることを、簡潔に書きなさい。

資料Ⅳ



(総務省の資料による)

資料Ⅴ

	65歳以上の 就業者数 (万人)
1980年	274
1990年	357
2000年	482
2010年	570
2020年	903

(総務省の資料による)

3 次の1～5の問いに答えなさい。

1 次の資料Ⅰは、世界の気候を熱帯、乾燥帯、温帯、冷帯（亜寒帯）、寒帯の五つの気候帯に区分し、ユーラシア大陸、アフリカ大陸、北アメリカ大陸、南アメリカ大陸、オーストラリア大陸、南極大陸における各気候帯の割合をそれぞれ表したものである。ユーラシア大陸の気候帯の割合を表したものを、資料Ⅰ中のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

資料Ⅰ

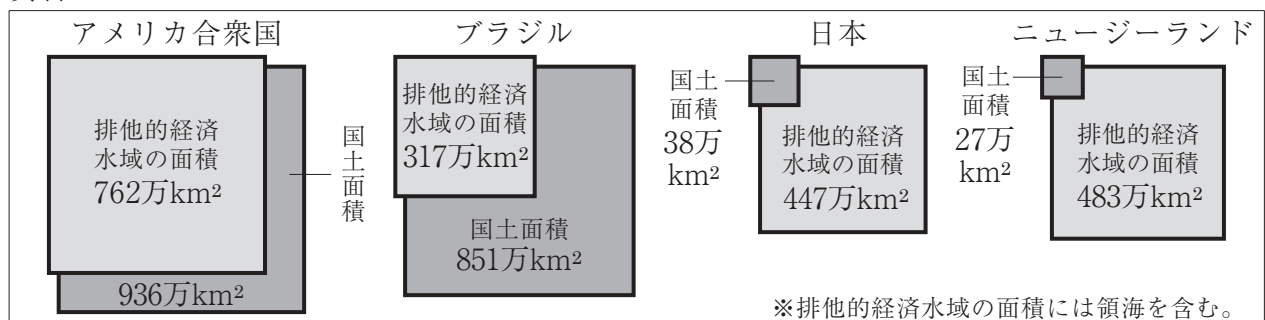
(単位 %)

	ア	北アメリカ 大陸	イ	ウ	エ	南極大陸
熱帯	38.6	5.2	7.4	63.4	16.9	—
乾燥帯	46.7	14.4	26.1	14.0	57.2	—
温帯	14.7	13.5	17.5	21.0	25.9	—
冷帯(亜寒帯)	—	43.4	39.2	—	—	—
寒帯	—	23.5	9.8	1.6	—	100.0

(データブック オブ・ザ・ワールド2023年版による)

2 次の資料Ⅱは、アメリカ合衆国、ブラジル、日本、ニュージーランドのそれぞれの国土面積と排他的経済水域の面積を表したものである。日本の排他的経済水域の面積が国土面積に比べて大きい理由を、簡潔に書きなさい。

資料Ⅱ



※排他的経済水域の面積には領海を含む。

(海洋白書2022による)

3 次の資料Ⅲ中のA～Dはそれぞれ、下の略地図Ⅰ中の●で示した㉠～㉤のいずれかの国の2021年における人口、人口密度、日本への主な輸出品と輸出額全体に占める割合を表したものである。資料Ⅲ中のDにあたる国を、略地図Ⅰ中の㉠～㉤から一つ選び、その記号を書きなさい。

資料Ⅲ

A			B		
人口(千人)		145 103	人口(千人)		35 950
人口密度(人/km ²)		8	人口密度(人/km ²)		16
順位	日本への主な輸出品	輸出額全体に占める割合(%)	順位	日本への主な輸出品	輸出額全体に占める割合(%)
1	液化天然ガス	24.0	1	原油	91.7
2	石炭	18.3	2	揮発油	3.7
3	原油	16.6	3	有機化合物	1.5

C			D		
人口(千人)		64 531	人口(千人)		38 155
人口密度(人/km ²)		117	人口密度(人/km ²)		4
順位	日本への主な輸出品	輸出額全体に占める割合(%)	順位	日本への主な輸出品	輸出額全体に占める割合(%)
1	医薬品	10.1	1	なたね	10.4
2	ワイン	8.6	2	鉄鉱石	9.2
3	一般機械	7.7	3	豚肉	8.4

(データブック オブ・ザ・ワールド2023年版による)

略地図Ⅰ

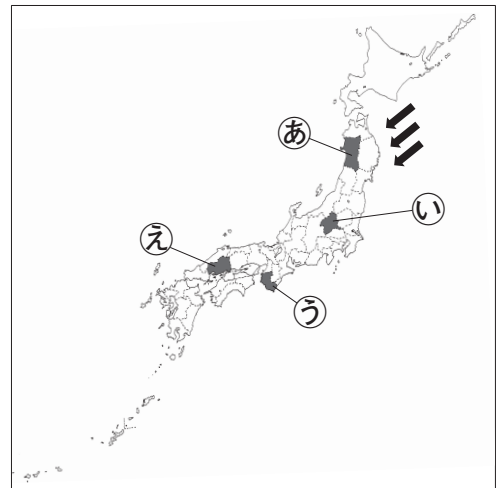


4 右の略地図Ⅱを見て、次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 略地図Ⅱ中の➡は、夏に東北地方に吹く北東風を表しており、この風が吹くと、東北地方に冷害が発生することがある。この風は何とよばれているか、書きなさい。

(2) 次の資料Ⅳは、略地図Ⅱ中の●で示した㉠～㉤の各県の2019年における米、野菜、果実の産出額及び製造品出荷額等を表したものである。略地図Ⅱ中の㉦で示した県の米、野菜、果実の産出額及び製造品出荷額等を表したものを、資料Ⅳ中のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

略地図Ⅱ



資料Ⅳ

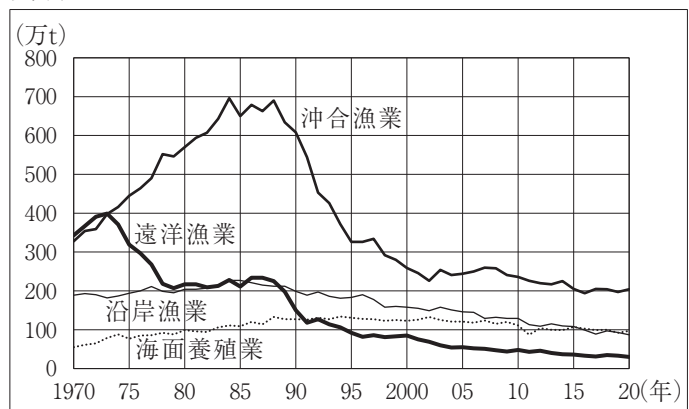
(単位 億円)

	産出額			製造品出荷額等
	米	野菜	果実	
ア	1 126	281	84	12 998
イ	156	912	83	90 522
ウ	76	144	740	26 754
エ	247	236	172	98 047

(データでみる県勢2022年版, 2023年版による)

5 右の資料Ⅴは、1970年から2020年までの我が国の遠洋漁業、沖合漁業、沿岸漁業、海面養殖業の年間生産量の推移をそれぞれ表したものである。この資料から読み取れることを述べた文として正しいものを、下のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

資料Ⅴ



(水産庁の資料による)

- ア 1970年と2020年を比べると、遠洋漁業、沖合漁業、沿岸漁業、海面養殖業の年間生産量の合計は、2020年の方が大きい。
- イ 遠洋漁業の年間生産量が、最も多い年は1975年であり、最も少ない年は1995年である。
- ウ 1980年から1995年の間で、沖合漁業の年間生産量が最も多い年は、最も少ない年の2倍を超えている。
- エ 2000年以降、遠洋漁業、沖合漁業、沿岸漁業、海面養殖業の年間生産量の合計に占める割合が最も大きいのは沿岸漁業である。